

仙台市行財政改革推進プラン2016の累積効果見込額

実施項目No.	実施項目名(下段は算定根拠)	累積効果見込額
No.11	市税の収入確保 ・効果見込額は、平成26年度の調定額(約1,878億円)に、取組みによる平成26年度の収納率(97.0%)からの各年度収納率向上見込を乗じて算定。 ・口座振込の加入を促進するなど納税者の利便性向上を図る取組み、単年度整理の徹底や計画的な滞納整理の実施など収入未済額の縮減を図る取組みによる収納率の向上を見込む。	約 50 億円
No.12	国民健康保険料の収入確保 ・効果見込額については、平成26年度の調定額(約285億円)に、それらの取組みによる平成26年度の収納率(77.6%)からの各年度収納率向上見込を乗じて算定。 ・組織横断的な取組みにより滞納整理に関するノウハウの共有を図り、職員の役割分担の明確化、初期滞納世帯への対策強化、低所得者対策などの取組みによる収納率の向上を見込む。	約 40 億円
No.7, No.41	未利用地等の有効活用 今後の未利用地売却や有償貸付の見込により算定	約 27 億円
No.28	保育所の民営化 ・平成26年度決算値に基づき積算した公立と民間の市費負担額見込額の比較により算定。 ・平成28年度当初までに9保育所の民営化を実施しており、計画期間中に8保育所の民営化を予定。	約 15 億円
No.21	施設使用料等の見直し ・改定による増収は、単年度あたり約2億円程度(28年度は10月新使用料施行のため半分程度)と算定。 ・平成28年度の改定率は、昭和58年以降改定を見送ってきたこと等を踏まえ、これまでの物価上昇率を基本とするとともに、料金体系については、現在の施設類型ごとの体系をベースとした整理に留めた。 【参考】 見直し対象施設に係る使用料収入約22億円、運営経費約154億円(平成26年度決算)	約 9 億円
No.9	情報システム最適化の推進 各システムのライフサイクル等を一覧化した最適化ロードマップを活用し、システム審査等により庁内の取組みを支援することなどによる各年度システム関連経費の縮減見込により算定。 【参考】 システム関連経費年間約75億円(平成26年度決算)	約 8 億円
No.36	地下鉄駅業務の委託 民間委託導入による人件費縮減見込額等により算定。 【参考】 地下鉄30駅のうち委託駅数と委託料見込の推移 H27年度 17駅(約6億円) H30年度 19駅(約7億円) H31年度 20駅(約7億円)	約 6 億円
-	その他の取組みの推進	約 5 億円
平成28年度から平成33年度当初までの累積効果見込額		約 160 億円

(参考) 仙台市の予算規模:平成28年度当初予算 5,067億円